

「第 65 回 港南区の歴史散歩」

1. 日時、コース

(1) 日時 : 平成 19 年 5 月 5 日 8 : 30 ~ 12 : 20

(2) コース : 港南台の今昔・港南台 1 ~ 3 丁目

JR 港南台駅 ~ 港南台開発「顕彰の碑」(ダイエー前) ~ 南部病院 (港南台 3-2)

~ 港南台中央公園 (港南台 3-5) ~ ^{なかやと}中谷の渡辺家 (港南台 2-4)

~ ちどり団地 (港南台 2-2) ~ かもめ団地 (港南台 2-1) ~ 港南台 7-9

石仏 ~ めじろ団地 (港南台 6-1) (解散)



注 1 : 囲み数字 (例 =) はスナップ写真に記載されている番号を示す。

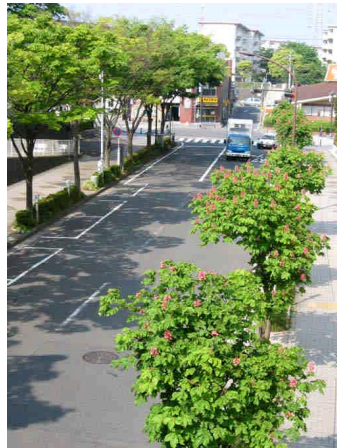
2. 当日のスナップ

- ・ 港南中央公園付近には奈良～室町時代へかけての製鉄加工に使ったであろう「たたら跡」が確認されています。また鎌倉・室町時代のやぐら群等も発見され、この地域で古代から中世まで人の営みが続いていたのでしょう。
- ・ 江戸時代末期(1830年)頃、当地域を構成する宮ヶ谷村は42戸、宮下村は34戸を数えるのみでした。
- ・ 昭和30～40年代にかけて根岸湾工業団地埋め立て造成に伴って、JRの根岸線の大船までの延長計画が具体化すると港南台の住宅団地建設が議論されました。住宅団地化にも賛否両論ある中、農住混在の方向を模索しておりましたが、国会で新都市計画法と国土利用計画法の2法が成立し農業の継続が不可となり、現在見るような大住宅団地造成に向けて、昭和57年11月竣工式が行われました。

(1)金井陸橋より港南台2～3丁目
道路は舞岡上郷線、右が港南台
中央公園、左 かもめ団地



(2)港南台3丁目高島屋横のマロニエの並木
ア．右側が高島屋、 イ．マロニエの花
左側は、ひばり団地 (西洋橡の木 - 落葉高木)



(3) 港南台開発「顕彰の碑」
顕彰の碑はJR港南台駅と
ダイエーの間にある



(4) 南部病院
西玄関側、左下にJR
根岸線が走っている



(5)港南中央公園広場
広場で太極拳をやっていた
公園事務所は左手にある



(6) 港南台中央公園内
左、孟宗竹と間竹の混合
竹林を登ると(7)へ



(7) 港南台中央公園からの眺め
送電線鉄塔は整地される以前
の標高を現している



(8) 港南台 2-6 より駅方面
前方左がダイエーの駐車場
右木立のところが四反田公園



(9) 港南台 2-4 (旧、宮ヶ谷村^{なかやと}中谷) 渡辺家

ア、渡辺家の長屋門



イ、渡辺家の庭 (芍薬の畑)、前方が港南台中央公園、



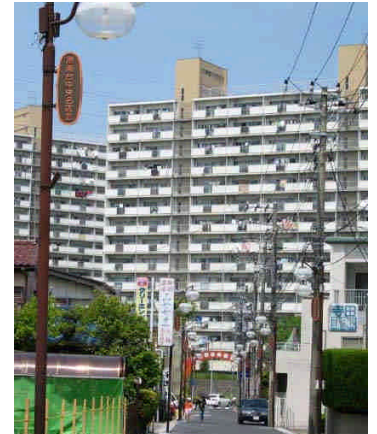
(10) ちどり団地
たたら遺跡と縄文土器片
の散布地、今は無い



(11) 港南台 7-4 内田家脇の石仏
この辺りが旧字名「宮田」か?
右、馬頭観世音塔、左、地藏尊



(12) 港南台 6 の中央名店街
手焼きせんべい屋さん
「みつやま」があった



以上